

2011年度 シラバス

科目	地学 I	単位数	3単位
教科書	高等学校地学 I 改訂版(啓林館)	副教材	センサー地学 I + II (啓林館)
<p>科目の概要</p> <p>地球とそれを取りまく宇宙の様子を知り、これらがどのように誕生し、どのように進化して現在に至るのか、また、これらのことがどのようにして明らかにされてきたのかを学ぶことを目的とする。</p>			
学 習 計 画			
月	学習事項	学習内容	
4	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 第1節 地球の概観 第2節 地球の内部構造	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の中の地球をほかの兄弟星と比較して、地球の特徴を知る。 ・地球の形や、地球がもつ重力や地磁気や熱、そして地球の内部構造について理解する。 	
5	第2章 現在の地球の活動 第1節 プレートとその動き 第2節 地震 第3節 火山活動と火成岩の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・プレートの動き、地震・火山活動など地球の現在の活動と火成岩の特徴について理解する。 	
6	第3章 造山運動 第1節 地殻変動と地質構造の形成 第2節 造山帯と変成作用	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の活動による変動について学び、そのとき形成される地形や変成岩の特徴を理解する。 	
7	第2部 地球の歴史 第1章 地球史の読み方 第1節 堆積岩とその形成場 第2節 地層と化石 第3節 地球史の組み立て	<p>地表は現在絶え間なく作用している大気や水の働きによって変化していること、地層や化石から地球の歴史を読むことができることを理解する。</p>	
8	第2章 地球と生命の進化 第1節 先カンブリア時代 第2節 顕生代	<p>地球誕生以来の大陸の生い立ちや生物の変化を具体的に知る。</p>	
9	第3部 大気・海洋と気象 第1章 大気と水 第1節 大気圏 第2節 水蒸気と雲	<p>大気圏の構造、および大気の鉛直方向の動きに伴う雲の発生・消滅などを学ぶ。</p>	
10	第2章 大気の運動 第1節 地球の熱収支 第2節 風	<p>太陽からのエネルギーとそのゆくえ、風の吹き方、地球規模での風系の成因、気団・前線などについて学ぶ。</p>	
10	第3章 日本の天気 第1節 シベリア高気圧と移動性高気圧 第2節 梅雨前線とオホーツク海高気圧 第3節 北太平洋高気圧	<p>四季折々の日本の天気の特徴を知る。</p>	
11	第4章 海洋と気候 第1節 海洋とその運動 第2節 海洋と気候	<p>海洋をめぐる大規模な海水の流れである海流とその気候に及ぼす影響などを学ぶ。</p>	
11	第4部 宇宙の構成 第1章 太陽と太陽系 第1節 地球の運動 第2節 惑星の運動 第3節 太陽系の天体 第4節 太陽	<p>地球の運動と太陽系の諸天体とその運動、および太陽の活動とそのエネルギーについて学ぶ。</p>	
12	第2章 恒星の性質と進化 第1節 恒星の光 第2節 恒星の性質とHR図 第3節 恒星の誕生と進化	<p>恒星の明るさや色からどのようなことがわかるか、また誕生から終末までの恒星の進化について学ぶ。</p>	
1	第3章 銀河系と宇宙 第1節 銀河系 第2節 銀河と宇宙	<p>われわれの銀河から銀河宇宙へ、宇宙の広がりや進化について学ぶ。</p>	